

SON・島根の活動は企業・団体・個人の皆さまのご支援によって支えられています。
ご協力ありがとうございました。【順不同・敬称略】

【お断り】ニュースレターに掲載を希望されない企業、団体、個人のお名前は割愛させていただきました。

正会員

青木 誠	岩田 浩岳	香川 歌子	川角 邦生	阪本 修覚	千原 真人	野々村 健造	古瀬 俱之	山崎 正幸
青山 砂織	岩成 フミエ	柿木 修	川本 巧	佐藤 和彦	土江 博昭	長谷川 清寿	星野 淳	山中 一平
青山 友行	上田 豊	柿木 節子	北村 仁志	佐藤 隆司	土屋 武雄	速水 雄一	正木 直美	山本 勝昭
浅津 博行	宇田川和義	柿木 昇	木村 香織	上代 弘実	塔村 俊介	原 祐二	増原 久子	横尾 哲也
荒木 宏和	宇谷 留美	景山 明	木村 康子	白根 裕文	仲佐 稔	原田 正俊	松浦 廣行	横路 仁朗
飯塚 守	内田 達雄	景山 俊太郎	木村 律子	新川 ひろみ	中筋 豊通	原田 裕司	松島 栄子	吉岡 延江
石原 武志	内田 俊雄	景山 孝志	久我 卓央	穴道 安男	中筋 廣昭	平井 澄子	松田 天史	若槻 和宏
石原 千鶴	内田 雅人	陰山 義広	倉本 智伯	角 智子	永長 好和	福島 瑞枝	松原 光男	和久利 清治
石原 肇	内田 政己	影山 喜文	黒田 弘之	須山 辰夫	中村 節夫	福田 圭祐	三浦 加寿子	和田 寿子
石原 一志	江角 隆	加後 隆	小林 淳一	須山 展至	中村 辰真	福田 賢司	三上 恵	渡部 晴夫
板持 さとみ	大谷 順	揖 伸	胡摩田 弘孝	園山 繁	中村 真由美	福岡 和幸	参成 佐智子	渡部 仁美
井戸内義文	小川 真里	勝山 学也	小山 伸	高尾 忍	名越 真理子	福岡 久八	村松 憲	渡部 博史
糸賀 寿夫	鴛原 友紀子	加藤 進	酒井 しのぶ	竹下 三郎	榎木 基嗣	藤原 資之	持田 裕子	渡部 雅幸
糸賀 真由美	落合 伸一	門脇 純子	境 英俊	田中 康治	西代 幹雄	藤原 秀晶	安田 賢一郎	渡部 祐治
糸川 恵美子	尾原 陽二	金津 一史	酒井 博章	為石 茂	野津 真澄	藤原 博	山内 秀洋	渡部 豊
今岡 克己	恩田 良一	栢野 和美	坂田 学	田本 昌利	野々内 誠	藤原 ひろみ	山口 知慶	

賛助会員（個人）

明石 美恵子	恩田 仁志	久我 紀子	陶山 憲三	玉木 瑞恵	藤原 克朗	堀江 知子	馬庭 博範
足立 昭二	梶谷 朱美	駿馬 重弘	高橋 慎治	出川 清一	藤原 亮	前田 伸子	馬庭 充伯
飯塚 真理	加藤 智子	小林 慶一郎	高橋 真由美	内藤 大輔	古川 一雄	松浦 健吉	毛利 智史
石倉 律子	門脇 令子	酒井 恭子	竹内 影子	新倉 恵子	星野 和宏	松浦 豊	吉野 彩音
石原 佑次	金津 須賀子	坂本 俊雄	竹谷 強	白石 恵子	星野 美津子	松田 美智子	渡邊 聡子
岡田 志恵美	川本 光咲	杉原 かおり	田中 千佳子	日野 修一	細田 実	松林 弘美	
岡田 尚子	木村 将悟	周藤 吉朗	田中 久則	日野 由紀子	細田 若代	馬庭 志津子	

賛助会員（企業・団体）

明石屋株式会社
株式会社出雲村田製作所
株式会社サセキ中国
有限会社糸賀製作所
今井産業株式会社
有限会社イワナリ厨機
雲南建設株式会社
雲南道路サービス株式会社
NPO法人かしま鹿島総合体育館
カナツ技建工業株式会社
協栄金属工業株式会社
幸和建設株式会社
社会福祉法人山陰家庭学院
山陰クボタ水道用材株式会社
山陰ケーブルビジョン株式会社
株式会社山陰合同銀行
ごうぎんリース株式会社
山陰中央テレビジョン放送株式会社
サンセイ電機株式会社

株式会社さんわファクトリー
株式会社しちだ・教育研究所
株式会社ジェットシステム
一般社団法人島根県経営者協会
島根県森林土木技術協会
島根県農業協同組合
島根電工株式会社
島根トヨタ自動車株式会社
社会福祉法人仁寿会
シンセイ技研株式会社
セコム山陰株式会社
第一生命保険株式会社
有限会社高浜印刷
武永印刷株式会社
田中工業株式会社
中国電力株式会社島根支社
株式会社常松土建
ティーエスケイ情報システム株式会社
有限会社トップ管工

トヨタカローラ島根株式会社
株式会社中澤建設
学校法人永島学園
株式会社中筋組
株式会社ネスター
ネットトヨタ島根株式会社
株式会社バイタルリード
株式会社博愛社
社会福祉法人比津ヶ丘保育園
有限会社深石石材店
藤原孝石材店
株式会社藤原鐵工所
株式会社報光社
北陽ビル管理株式会社
ホンザキ株式会社
株式会社ホンダカーズ松江
有限会社酒の横戸天狗堂
有限会社松江自動車用品商会
松江土建株式会社

まるなか建設株式会社
株式会社ミック
株式会社みしまや
株式会社メディアスコープ
株式会社ヨコハマタイヤジャパン
山陰カンパニー松江営業所
社会福祉法人四ツ葉福祉会
赤来ライオンズクラブ
大田ライオンズクラブ
掛合ライオンズクラブ
加茂島根ライオンズクラブ
木次ライオンズクラブ
江津ライオンズクラブ
頓原ライオンズクラブ
仁多ライオンズクラブ
松江葵ライオンズクラブ
松江キャスル葵支部
三刀屋ライオンズクラブ

ご寄付いただきました

坂本ドネイション
ファウンデーション株式会社
ホンザキチャリティクラブ

支援型自動販売機設置

au ショップ出雲駅南店
有限会社三和部品
美幸建設
みしまや三刀屋店
ホンザキ株式会社
サンセイ電機株式会社

支援を受けている団体

島根県共同募金会テーマ募金

編集後記

スペシャルオリンピックス
日本 夏季ナショナルゲー
ム・広島大会が開催され、
アスリートをはじめたく
さんの人のつながりや交流が
できたこと、本当にうれし
く感じます。
編集集中の写真のとてもいい
表情が大会の様子を物語っ
ていると感じました。
(広報副委員長
岡本 美緒)



■発行：スペシャルオリンピックス日本・島根 ■発行日：2023 年 2 月 ■編集：広報副委員長 岡本 美緒 ■監修：広報委員長 若槻 和宏
■〒699-1105 島根県雲南市加茂町宇治 303 雲南市加茂文化ホールラメール内
TEL.0854-49-8500 FAX.0854-49-6200 http://son-shimane.homepage.com

★この活動は、赤い羽根共同募金の助成を受けています。



知的障害のある人にスポーツを

2023.2 vol.17

スペシャルオリンピックス日本・島根

NEWSLETTER



Special Olympics Nippon
HIROSHIMA 2022
National Summer Games

スペシャルオリンピックス日本
夏季ナショナルゲーム・広島大会

7 競技にアスリート 29 人参加。
メダル獲得 24 個の大活躍！

「Power of Smile～誰もが輝ける場所へ」をス
ローガンに2022年11月4日から3日間、広島県で夏
季ナショナルゲームが開かれました。アスリート
29人、コーチ18人の島根県選手団は7競技に参
加。チーム戦に参加した男子バスケットボール、
初めての参加を果たしたサッカー、柔道など各競
技で健闘し、実力を発揮して合計24個のメダルを
獲得しました。
初日は広島県立総合体育館で開会式があり、総勢47人
の島根県選手団は堂々の行進を見せました。2日目から
の競技で、初めてチーム競技に参加した男子バスケット
ボールチームは決勝までの4連戦を6人のメンバーで



戦い抜き、見事銅メダルを獲得しました。
サッカー個人技能競技に参加した5アスリートは練習の
成果を発揮して、金メダル3個、銀メダル1個を獲得し
ました。柔道では参加の3アスリート全員がメダルを獲
得しました。

アスリート代表が大会を前に 丸山知事表敬

11月4日から3日間、広島県で開かれたスペシャルオリンピック・ナショナルゲーム夏季大会を前に 10月24日、土江団長ら島根県選手団代表が県庁を表敬訪問。丸山達也知事に大会への意気込みなどを表明しました。

丸山知事は「コロナウイルス感染症の流行などで練習も大変だったでしょうが、晴れの舞台を楽しみながら持てる力を発揮してください」と激励しました。知事の激励を受けて、バスケットボール（チームゲーム）のアスリート・柿木篤さんは「勝ち負けにこだわらず、楽しく大会に臨みたい」と意気込みを話しました。



感動と喜び、そして新たな挑戦 夏季ナショナルゲーム・広島に参加して



第8回スペシャルオリンピック日本 夏季ナショナルゲーム・広島大会にSON・島根は過去最多の選手団を編成し、アスリート・コーチ 47人が参加しました。

開会式は広島県立総合体育館で開会式が行われ、圧倒されるような雰囲気の中で選手団は島根の代表として堂々たる入場行進を行いました。

有森裕子大会長からは「コロナ禍にあって、さまざまな困難を克服し、参加したアスリートの皆さんとの出会いを喜び、笑顔でスポーツを楽しんでいただきたい」と激励の言葉がありました。

緊張と大会出場の喜びを胸に島根のアスリートの皆さんは、11月5日、競技1日目を迎えました。予選・ディビジョニングが主となりましたが、アスリートが自分の目標に向かって全力でプレイする姿は、とても感動的でした。休憩時には、他県のアスリートと名刺交換するなど、交流活動も積極的に行いました。宿舎は競技ごとに分かれ、綿密な輸送計画の下に送迎が行われ

ましたが、4,000人を超えるボランティアの支えに「感謝」でした。私は、バスケット会場をメインとしていたため、バスケットと近くの柔道競技以外は応援に駆け付けることが出来ず残念でした。ヘッドコーチの皆さんから活躍の様子をうかがい、とてもうれしく思いました。

金メダル9個、銀メダル7個、銅メダル8個、入賞5名という素晴らしい結果となりました。アスリートの皆さんの誇らしそうな顔が印象的でした。

「夢」があるから挑戦できる。4年後のナショナルゲームを目指して、新たな挑戦を期待しています。（選手団長 土江 博昭）



石飛市長迎え壮行式



10月30日、広島大会の壮行会を行いました。真っ赤なユニフォームを着た選手団が入場すると、石飛雲南市長をはじめ来賓の方々と会場皆の大きな拍手が起こりました。選手一同がそろった姿は圧巻で、アスリート一人一人の闘志も感じました。来賓の皆様にはあたたかい応援や勇気の出る言葉をいただきました。

コロナ禍で活動のブランクはありましたが、壮行会を行うことでたくさんの皆様に支えられている SON・島根を感じることができました。

併せて壮行イベントとして行いましたオンライントーチャンに参加下さった皆様、ありがとうございます。

（ボランティア副委員長 参成 佐智子）

選手個々の成長と素晴らしい成果

バスケットボールチーム戦は、松江市・出雲市・雲南市のアスリートで合同チームを編成し参加しました。競技規則上は7人以上でしたが6人でのエントリーを認めてもらい出場にこぎ着けました。大会までの練習は3回。最後の練習会はボランティアチームとの練習試合で自信をつけました。

1日目（予選）は1勝2敗で、2日目（決勝）はディビジョン3に入りました。決勝進出をかけた東京戦は、23-30で惜しくも敗れましたが、奈良との3位決定戦は、応援団の声援を受けたチームワークとハッスルプレーにより44-8で勝利し、銅メダルを獲得しました。

表彰式では有森裕子理事長からメダルを掛けてもらいました。特に選手個々の精神面での成長を感じることができました。

（バスケットボールチーム競技コーチ 速水 久樹）

柿木 篤さん(バスケットボールチーム競技アスリート)

今回は初めてバスケットのチーム競技に出場しました。普段会えない雲南のアスリートとチームで楽しく最後まで諦めずに頑張りました。銅メダルをもって帰ってきました。また機会があれば出場したいです。今回出られなかったアスリートは次の大会に向けて頑張っていきたいと思います！



柔道

皆さんに勇気をもらいました

初めての大会でした。皆、緊張してたかな？コーチだけでしたかね。

結果は、河上玄樹さん銀メダル、宝正愛歩さん金メダル、原聖美さん銀メダル。

とても勇気をもらいました。皆さんに感謝です。（柔道コーチ 河野 茂照）



原 聖美さん(柔道アスリート)

私は柔道の島根代表として、浜田の河上玄樹さん、出雲の宝正愛歩さんと出場しました。大会は 4 日が開会式、5 日が体重測定、ルール説明等で、6 日が試合、閉会式の 3 日間で行われ、さまざまな方の応援を受けて試合に臨みました。残念ながら体力がついていかず、試合には敗れてしまい、悔しい思いましたが、せいっぱい頑張ったので満足しています。

バスケットボール



バスケットボール個人競技

バスケットボール個人技能競技は、島根県から5人のアスリート（男子4人、女子1人）が参加し、10mドリブル、スポットショット、キャッチ&パスの3種目の合計点で競いました。会場は広島グリーンアリーナ、1万人の観客を収容可能な大きな会場で経験したことのない雰囲気の中、5人のアスリート皆が練習通り、またはそれ以上の結果を出しメダルやリボンを手に入れました。

予選の後、翌日の決勝に向け練習をしたい、と自ら申し出たアスリート。気持ちで獲得した結果だと思います。

競技以外でも、移動や宿泊先でアスリート同士協力し合い早朝から夕方までのタイトなスケジュールを遅れることなくこなせたことも立派でした。今回の経験全てが参加アスリートの自信となり、他のアスリートの目標となって今後の練習、私生活に生きることに思います。（バスケットボールコーチ 酒井 しのぶ）



練習の成果を発揮！

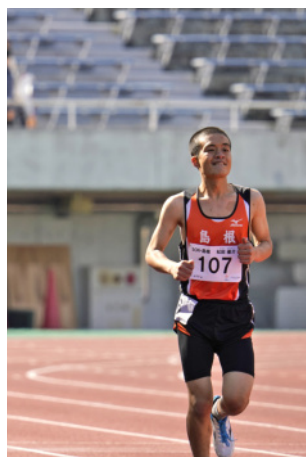
4年に1回のナショナルゲーム、全国大会と大きな競技場ということで、2人のアスリートは緊張気味でしたが、日頃の練習の成果を発揮して素晴らしい走りをしてくれました。この経験を活かし、新しい目標をみつけてプログラムや競技会を頑張ってください。
私も今回の経験を活かして、アスリートの皆の支えになれるように、頑張ります。（陸上競技コーチ 藤原 博）

新川 麻未さん(陸上競技アスリート)

私は初めて全国大会に出場しました。種目は100メートル走です。11月5日は予選、6日は決勝がありました。予選は7人の方と戦いました。自己ベスト19秒03が出て、しかも1位を取ることが出来て、嬉しかったです。決勝は8人の方と戦いました。1位になれなくて、負けて悔しかったので、また出場出来れば、頑張りたいです。



陸上競技



サッカー

大田サッカープログラムから5人が広島大会へ

サッカープログラムはアスリート9人と少ない人数です。みんな楽しく頑張っています。コロナ禍で思うように練習が開催できない日が続きましたが、個人練習や動画での自主練習などを重ね、11月に開催された広島ナショナルゲームには、大田のサッカープログラムから5人のアスリートが参加しました。全員が一生涯懸命頑張ることができました。アスリートにとっては全国大会でプレーした経験が大きな自信につながったことと思います。全国大会後、サッカーアスリート全員が新たな目標を掲げ、プログラムに取り組んでいます。コーチ陣からも「プログラムをする度に技術が上達していますね」などの感想が出され、アスリート一人ひとりのやる気を感じます。チーム競技でのプレーを目指し、みんなで励まし合いながら頑張っていきたいと思っています。

（サッカーコーチ 俵 広人）

鍋田 雄佑さん(サッカーアスリート)

広島大会は、ドリブルとシュートとランアンドキックの種目がありました。ランアンドキックでひとつおとしました。でも楽しかったです。



大会の意義と役割を確信

卓球競技コーチとして参加させていただきました。唯一の卓球競技参加者の福本怜依さんのサポートが私の役目とのこと。軽い気持ちで引き受けたが、大会が近づくにつれうまく役目を果たせるか、不安が募ってきました。

でも、開会式で不安が感動に置き変わりました。有森裕子大会長の熱い思いあふれるあいさつに涙腺がゆるみました。

2日目。福本さんは予選を見事な成績で終え、ディビジョニングにより、3日目の決勝は、最強アスリートのグループへ。手に汗握る素晴らしい試合の連続でした。ボランティアの学生さんも一緒に応援してください、見事、銅メダルを獲得！

福本さんの充実した笑顔を目にし、「この次も絶対に参加したい」という言葉を聞いて、この大会の意義と役割を確信しました。

（卓球コーチ 馬庭 志津子）

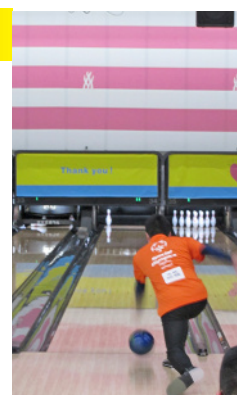
卓球



福本 怜依さん(卓球アスリート)

今回初めての大会出場でした。最初は緊張したけど、練習の成果を発揮できました。大会では銅メダルをもらえてうれしかったです。他県の選手ともいろいろな話ができて良かったです。これからも大会に向けて練習を頑張りたいです。

ボウリング



大和 俊也さん

(ボウリング競技アスリート)

ボウリングで初めて参加しました。1日目は3ゲームで450点だせて、2位でよかったです。2日目は350点で6位でしたが、2位リーグの強い選手の方達と一緒にゲームできて、良い経験になりました。緊張しましたが、頑張りました。楽しかったです。

皆に支えられ頑張りました

競泳会場の日本製鉄アクアパーク（呉市）は、会場内にアッププールが別にあり、8コースの内4コースの底が上下する、最新鋭の設備のプールでした。しかし競技中に上下する事はできないとの事で、全競技135cmの深さで行われました。また25mのスタート側には、背泳用のグリップがなく、身長の高いアスリートはコーチが抱えてスタートしないといけなかったです。

ちょっと困る事もあったのですが、島根のアスリートは参加した3人とも銀2つと銅1つを取ってくれました。応援に来て頂いた皆様には、外からの見学となったにも関わらず、沢山の応援をありがとうございました。

（競泳コーチ 和久利 清治）

ファミリーの声



ナショナルゲームに初めて参加させていただき、目にした事は競技を終えたアスリートが、やり切ったぞと清々しい笑顔を見せ、普段とは違う姿に成長を感じさせてくれた瞬間でした。アスリートは親元を離れ心身共に成長を実感できる3日間ではなかったかと思います。貴重な経験をありがとうございました。

（ファミリー 浅津 広隆）

全国大会の雰囲気味わう

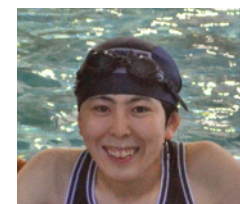
ボウリング競技は、シングルスに2人のアスリート、ユニファイドにアスリートとパートナー1組での参加となりました。初日の予選では全員が日常プログラムの成績を上回る頑張りをみせ、翌日の決勝でも常に全力を尽くす姿がとても凛々しかったです。表彰台では、マスクの下でのキョウとした誇らしい口元が透けて見えました。交流のタイミングが限られる中、アスリート同士の名刺交換や写真撮影もあり、全国大会の雰囲気を肌で感じました。（ボウリングコーチ 長谷川 清寿）

競泳



福田 陸斗さん(競泳アスリート)

ひろしまへいきました。みんなであつまってバスでいきました。かいがいしきではたくさんのげきみ、そのあとバスでグリーンピアせとうちにいきました。ホテルのごはんがおいしかったです。じぶんは50mのクロールをおよぎました。2いをとることができました。これからもプールのがんばります。



団体戦での出場が目標に

娘はサッカーの個人競技に出場しました。初めての全国大会で緊張したと思いますが、盛大な開会式への参加や大きな競技場でプレーする事ができ、とても喜んでいました。本当に良い経験をしたと思います。アスリート、ファミリー、コーチの皆さんがとても温かく、親切・丁寧にご指導いただいたおかげです。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。次は団体戦での出場を目指し、みんなで日々の練習に励んでいます。（ファミリー 三代 和枝）

小学校卒業以来、10年ぶりの柔道に誘ってもらい、今回初めてナショナルゲームに参加しました。練習を重ねるにつれて、本人の広島大会への出場意欲が高まり、「やってやるぞー」丸出しで頑張っている姿を見せてくれました。それからは親子共々、ワクワク感やドキドキ感を感じながらの日々でした。

広島大会では、全国の仲間に出会うことができ、そして対戦し、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。大会期間中には、たくさんの方々に支えていただいたことも忘れられません。

（ファミリー 河上 香）

SON・広島のお母ちゃんパワー”は健在！

大会2日目、各会場から予選の興奮をそのままに、全国の仲間たちが広島YMCA国際文化ホールに集結しました。コロナ禍で交流会も従来の交流中心のスタイルではなく、アスリートたちのパフォーマンスやHIPPYさんのライブとなりましたが、会場全体がひとつになる、素晴らしい、そして温かいステージになぜか涙がとまらなかったです。

SON・広島の“お母ちゃんパワー”は健在！忘れられない交流会となりました。

(ファミリー委員長 柿木 修)



交流会



次回もぜひ参加したい

今回初めて参加させていただきましたが、「楽しかった！」というのが一番の感想です。

初参加ということでもとても緊張しておりましたが、島根県代表の皆さんが温かく接してくださったおかげですぐに緊張もほぐれました。私自身は徳島県出身ですが祖母が島根県出身なのでこの出会いにご縁も感じております。

貴重な経験をさせていただいた島根県代表の皆さんには本当に感謝しております。

次回も機会があればぜひ参加したいと思います。

(島根県担当ボランティア ソニー生命保険徳島支社 松下 大誠)



石飛市長 表敬訪問

雲南市役所で行われた報告会には雲南地区の出場アスリート4人、コーチ、関係者6人が出席し、石飛厚志雲南市長に大会の様子や成績を報告しました。

バスケットボール(チーム競技)に出場した和田千輝さんは、他地区のチームとの激戦を「全国の強豪と対戦し悔しい思いでしたが、銅メダルを獲得できて良い思い出となりました」と振り返りました。

石飛市長からは「皆さんの活躍は大変素晴らしい。大会で得た経験をこれからの活動に活かしてください。応援しています」と温かいメッセージをいただきました。

(副団長 神田 陽二)



楫野市長 表敬訪問

12月15日、大田市役所を表敬訪問し楫野市長に広島大会の報告をしました。

アスリート3人は緊張しながらも大会に参加して感じたことを自分の言葉で市長に話していました。アスリートの言葉を正面から受け止めていただき、市長に励ましのお言葉もいただくことができました。

メダルも披露し、スペシャルオリンピックスの魅力を感じてもらえたと思います。大田市内ではまだ活動が知られていないので、今回の報告を機に認知度が高まることを期待しています。

(サッカーコーチ 宇谷 留美)



上定市長 表敬訪問

松江市役所にて上定市長を表敬訪問させていただきました。

大会の感想や今後の抱負など、アスリート一人ひとりがお話をさせていただきました。

歓談時には和やかな雰囲気の中、上定市長から更なる飛躍に繋がるお言葉をいただきました。アスリートの皆さんが堂々と話す姿がとても素晴らしかったです。

上定市長を囲んでの記念撮影も行い、貴重な経験となりました。

(ファミリー 福本 智子)



アスリートの活躍に感激 経験と感動を糧に一層の成長へ



2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島に、島根県内から47人のアスリートとコーチが参加しました。たくさんのご支援とご声援をありがとうございました。

11月4日の開会式で島根県選手団は堂々の行進をしました。47人の選手団は出場県の中でも人数が多い方で、観客席で見守るわれわれも誇らしく、感激ひとしおでした。

アスリートは2日目からの競技でも実力を発揮し、7競技で24個のメダルを獲得してくれました。夏季大会の経験と感動は、アスリートはもとより関係者一人ひとりの変化と成長の糧となったに違いありません。

今後もスペシャルオリンピックスの活動を通し、知的障がいがある人たちの社会参加促進に努力してまいります。ぜひ一緒に、多様な人々が互いに理解を深め、認め合う社会をめざしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(スペシャルオリンピックス日本・島根 会長 速水 雄一)

テーマ募金に協力を！

スペシャルオリンピックス日本・島根は赤い羽根共同募金(テーマ募金・1月～3月)の活動を行っています。活動を通じて皆様にSOのことを知っていただき、応援をしていただければと思います。

SON・島根は、松江市、雲南市、出雲市、大田市、江津市、浜田市、飯南町で9競技のスポーツプログラムを行っています。アスリートは各競技会、4年に1度の全国大会などを目標に頑張っています。皆様の応援をよろしくお願いします。



【募金方法】

- チラシに払い込み用紙が付いていますので、郵便局でお振込みください
- インターネットからもご寄付いただけます。チラシまたは下記の二次元バーコードからWebサイトをご覧ください
- 募金箱への募金：みしまや田和山店、三刀屋店、大田店、マルシェリーズ木次などに設置されています(財務委員長 糸川 恵美子)



冬季競技/ アルペンスキー体験会に参加して

スキー体験会に参加させていただきました。普段は、親や兄からのアドバイスは嫌がるのですが、皆さんと一緒にスキーをして「教えてもらって上手に滑れたよ」と嬉しそうに話をしてくれました。

最初は緊張をしていましたが、仲間もいてアットホームな雰囲気がとても良かったようです。次回も楽しみにしております。



(ファミリー 上田 啓子)

フロアホッケー体験会に参加して

最初に、物干し竿のような棒を使って、フェルトで作られた丸くて中心に穴の開いたパックの操作の方法を教えてもらいました。

パスをしながらゴールに入れる練習をした後はチームに分かれてゲームを楽しみました。

子どもも大人も気軽に楽しむことができるスポーツだと感じました。これから仲間が増えるといいなと思います。

(アスリート 山中峻平・ファミリー 山中ゆかり)